

新津の文化財

(その1)



ひとひと 女・男 ひろば

< 第41回 >



自分らしく生きる

小嶋孝代心理相談室
小嶋 孝代さん

わたしは、会った人のすてきなところやいいところを見つけることが好きです。きっと「人」そのものが好きなんです。その反面、自分自身や自分の決めたことには、かなり厳しい面を持っています。

今の自分を作ってくれたのは、優しくも厳しかった両親やふるさと徳島の自然、そして幼いころから積み重ねてきたいろいろな経験です。多くの人と関わり、さまざまな考え方に会おう中で、何かに気付いたり感動したりしたことが成長の基となっています。そして、事に当たっては失敗を恐れず、まずは行動を起こすことにより、体得できる何かがあるはずと心掛けてきました。

わたしが大切にしていることは、「あるがまま」の純粋な気持ちで人や自然と接していくことです。道草は多いけれども、自分の人生に後悔はありません。

市教育委員会では、市内に所在する文化財を多くの人に知ってもらおうとともに、次の世代へ伝えていくため、新たに指定・登録されたものを含めた「新津の文化財(改訂版)」を今年の三月に刊行しました。

新津が育んできた文化の足跡を知ることができ、未来のまちづくりにつながる貴重な資料として、今号から主な文化財を紹介していきます。



市指定文化財

妙蓮寺山門 一棟

所在地/大字東島29番地1
所有者/妙蓮寺

妙蓮寺は、法久山寿量院妙蓮寺が正式な名称で、鎌倉時代の正応元年(一二八八年)、宗祖日蓮の法孫日印によって創建された市内で最も古い歴史を持つ日蓮宗の寺院です。

正面にそびえる堂々とした山門は、文政九年(一八二六年)に建造され、年代はそれほど古くありませんが、壮麗な中にも重量感にあふれる建築美は、近隣に類を見ない江戸時代末期の代表的な寺院

建築の一つに数えられています。

新潟県の調査報告書には「この山門の建築は三間三戸二重門と呼ばれ、文政期の建物としては装飾が控えめで好感がもたれ、下から見上げた軒廻りの構成はあたかも中世の力強さを思わせる」との記述があり、その文化的価値が高く評価されています。

「新津の文化財(改訂版)」を頒布しています

頒布価格 一部千円
頒布場所 地域学園、図書館、新津市美術館
問い合わせ 生涯学習課文化財係(☎22-9666)へ。

新津市の人口

平成16年6月30日現在(前月比)	前年同月比
男 32,674 (+ 8)	(+ 131)
女 35,322 (+ 4)	(+ 155)
計 67,996 (+ 12)	(+ 286)
世帯数 22,031 (+ 28)	(+ 466)
6月中の動き	
出生 48	死亡 61
転入 147	転出 122
結婚 19	離婚 4

緑の風薫り 笑顔ゆきかう ふれあい文化都市

にいつ 新津

新津市第3次総合開発計画：平成7～16年度

水と緑のまち 快適で安らぎが漂うまち
明るく元気なまち 健やかで優しさが響きあうまち

人が輝き活力のみなぎるまち 個性豊かな文化のまち
豊かな人間味と文化の薫るまち